

2026 年 8 月 14 日

会社名 株式会社グリッド

代表者名 代表取締役社長 曾我部 完

(証券コード：5582 東証グロース)

【自動車領域本格展開】グリッド、本田技研工業向け 「製品輸送網最適化シミュレーター」を開発

～「物流 2024 年問題」に対応、持続可能な物流体制の構築へ～

株式会社グリッド（本社：東京都港区、代表取締役社長：曾我部 完、以下「当社」）は、本田技研工業株式会社（以下「ホンダ」）の国内四輪完成車物流において、複数の物流ネットワーク案を定量的に比較・評価し、物流計画の意思決定を支援する「製品輸送網最適化シミュレーター」を開発いたしましたので、お知らせいたします。本件の詳細につきましては添付のリリースをご参照ください。

本シミュレーターは、当社が新たな成長領域として注力する「製造・運輸」分野における活用事例です。数理最適化技術を用いて完成車物流を構成する複数の要素を一体的にモデル化し、物流ネットワーク案の比較・評価を可能にするもので、2026 年 1 月より開発に着手いたしました。一定の前提条件の下で、評価対象コストを最大 5.4%削減できる可能性があるとの試算結果を得ております。

本件のポイント（成長戦略上の意義）

◆ **成長分野「製造・運輸」への展開加速** 国内四輪完成車物流を担うホンダとの取り組みにより、当社の数理最適化技術を、注力領域である「製造・運輸」分野へさらに展開します。大手製造業の中核業務における実装事例として、当社技術の適用力を示すものと捉えています。

◆ **大手顧客との中長期的な関係構築** 国内を代表する完成車メーカーとの取り組みであり、今後は評価項目の拡充など機能拡張を予定しております。継続的な活用拡大を通じた中長期的な取引を見込んでおります。

◆ **業界横展開のポテンシャル** ドライバー不足や労働時間規制への対応という物流課題は、幅広い荷主企業・産業に共通します。本件で培う知見を、他の製造業や物流領域へと展開する余地があると考えています。

本件の社会的意義

国内物流では、ドライバー不足や労働時間規制への対応が重要な課題となっており、荷主企業には、輸送力の確保、物流の効率化、環境負荷低減を踏まえた持続可能な物流体制の構築が求められています。本件は、当社の数理最適化技術により複数の物流ネットワーク案を定量的に比較・評価し、ホンダの物流計画の意思決定を支援するものです。今後はコスト・輸送力・環境負荷を含む多面的な評価へと機能を拡張し、幅広い産業の物流高度化を通じて、日本の持続可能な物流の実現を足元から支えてまいります。

以上

※本文中の削減効果は、過去の実績データなどをもとにしたシミュレーション上の試算値であり、実際の削減効果を保証するものではありません。

本田技研工業の国内四輪完成車物流向け 製品輸送網最適化シミュレーターを開発

株式会社グリッド（代表取締役社長：曾我部完、本社：東京都港区、以下「グリッド」）は、本田技研工業株式会社（以下「ホンダ」）の国内四輪完成車物流において、複数の物流ネットワーク案を定量的に比較・評価し、物流計画の意思決定を支援する「製品輸送網最適化シミュレーター」を開発しました。

本件は、グリッドが新たな成長領域として注力している「製造・運輸」領域における活用事例であり、数理最適化技術を用いて完成車物流を構成する複数の要素を一体的にモデル化し、物流ネットワーク案の比較・評価を可能にする取り組みです。

開発の背景

国内物流においては、ドライバー不足や労働時間規制への対応が重要な課題となっています。特に荷主企業には、物流の効率化、輸送力の確保、環境負荷低減を踏まえた持続可能な物流体制の構築が求められています。ホンダの国内四輪完成車物流においても、事業環境や物流を取り巻く条件の変化を踏まえ、複数の物流ネットワーク案を定量的に比較し、その効果や実行可能性を検討する仕組みが必要とされていました。

こうした背景から、ホンダによる物流計画の意思決定を支援するため、2026 年 1 月よりグリッドが本シミュレーターの開発を開始。過去の輸送実績などをもとに物流ネットワークをモデル化し、複数の条件を組み合わせた比較・分析を行いました。

本シミュレーターの概要

本シミュレーターは、国内四輪完成車物流を対象に、輸送条件や物流関連コストなどの各種データを組み合わせ、複数の物流ネットワーク案の比較検討に必要な定量データを算出するシステムです。

効果試算

本シミュレーターを用いて、複数の物流施策を反映した物流ネットワーク案を検証した結果、一定の前提条件の下で、評価対象コストを最大 5.4%削減できる可能性があるとの試算結果を得ております。※過去の実績データなどをもとにしたシミュレーション上の試算値であり、実際の削減効果を保証するものではありません。

今後の展望

今後は、輸送リソースや環境負荷などの評価項目を拡充し、コスト、輸送力、環境負荷を含めた物流ネットワーク案の比較検討を支援する機能拡張を進めてまいります。本シミュレーターで培った知見を活かし、幅広い産業の物流高度化ニーズに応えてまいります。

～ お問い合わせ先 ～

<報道関係者様>

株式会社グリッド 広報担当

TEL：070-5567-0542 Email：grid_info@gridpredict.co.jp